

たづき 手段 ^{いさか} 諍ふ 口げんかをする こしをれ (自分の歌を謙遜して)へ
 たな歌 ありける 以前の ^{よほひ} 齡 年齢 ^ゑ 酔ふ 酔う ^{ひねもす} 終日 一日中 すさまじ
 興ざめだ ^ざ 戯れ言 ^{ごと} 冗談 よろし まあよい・悪くない ^{くもあ} 雲居 宮中 え…ず
 …することができない ^{からぶみ} 漢文 ^{かんせき} 漢籍 ^{いくばく} 幾許 それほど ゆめゆめ…な 決して
 …するな ^{おうな} 嫗 ^{めて} 老女 ^{をさめ} 馬手 右の手 長女 年とった女中 あはれむ かわ
 いがる ^{ふるごと} 古事 ^{わた} 昔の古いこと ^{わた} 渡らひ ^{こち} 生活のための仕事 東風 東の風
 なま 未熟な・年の若い・身分の低い たまゆらに ちよつとの間 ^{なれ} 汝 おま
 え・なんじ ^お 負ふ ^ゐ ふさわしい ^{ゆる} 率る ^{やから} 引き連れる 族 ^{おも} 仲間 思ほゆ 思わ
 れる ^け 食 食物・食器 ^{かな} 愛し ^{ゆふ} 可愛い 夕つく 夕方になる ^す 好き ^と 風流 疾し
 はやい ^{きつな} 絆 ^{いりあひ} 断ちがたい情愛 ^{つひ} 入相 夕暮れ ^{おく} 費え 費用・浪費 臆す 気
 おくれする ^{しりへ} 後 うしろ ^{てき} いを うお 手利き ^{あさい} 名手 朝寝 朝寝 明かる 明る
 くなる いざたまへ さあいらっしゃい さりながら かしながら わたくし
 個人的な都合 ^ゑ 笑む にこにこする など なぜ をこ 馬鹿 ^{こたみ} 此度 このた
 び ^{おんじき} 飲食 飲物と食物 うたた はなはだしく おろし おさがり あまた たく
 さん ^{しる} 治める・領地を所有する ^{さんぞく} やまだち 山賊 ^{おと} 音 噂・たより ^{とうぐう} 春宮
 皇太子 ^{なか} 半ら 半分・おおよそ ^{いま} 今は ^{りんじゅう} 臨終 ^{ものう} 物憂し 気がすすまない・つら
 い ^{かみ} 神さぶ ^{こうごう} 神々しい ^{ひな} 鄙ぶ ^{いなかびる} いなかびる ^{いつくし} いくつし ^{かわいらしい} かわいらしい ^よ 善き人 ^{ひと}
 身分や教養の高い人 ^{いさ} いさ さあどうだろうか ^{いとな} 営む 作る・用意する・いそ
 しむ ^あ 敢ふ ^あ がまんする さのみ そうばかり さとびと 田舎者 さらに…ず
 全然…ない ^{なぐさ} 慰む ^{かた} 気がまぎれる ^{むずかしい} 難し ^を むずかしい 愛し ^{いとしい} いとしい・惜し
 い ^あ 会ふ ^{をとこで} 結婚する 男手 男の書いた文字・漢字 ^{かしがまし} かしがまし ^{やかましい} やかましい
 雅び ^{みや} 上品で優雅なこと・風流 ^{いへあ} 家居 すまい ^{かざし} 挿頭 ^{かんざし} かんざし ^{いう} 優なり す
 ばらしく立派だ ^{いと} 愛し ^{きの毒だ} 気の毒だ ^{こぞ} 去年 去年 ^{おご} 奢る 思いあがる ^{みぐし} 御髪 髪
 九重 ^{ここのへ} 宮中 ^{あした} 朝 あさ・翌朝 ^{わる} 悪し ^{よくない} よくない・へただ・下品だ・貧しい ^{かうみやう} 高名
 有名なこと・てがら ^{ともがら} 輩 仲間 ^{こころづから} こころづから ^{自分の心から} 現 現実・正

気 すこぶる すこしばかり 例 いつものこと さて そこで・そのままで 寝
 ぬ ねる なさけ 風流を解する心・和歌のたしなみ 穿つ 穴をあける・貫
 く 夜さり 夜 理 道理 夜すがら 夜どおし 見る 会う・結婚する つゆ
 …ず 少しも…ない 次で 順序 真砂 こまかい砂 かばかり これほど
 上人 殿上人 さりぬべき 適当な 枯る 枯れる 長く 年をとる うたかた
 水の泡 山川 山の中の川 つれなし 冷淡だ・さりげない 形見 籠 真
 名 漢字 いみじ ひどい・すばらしい 心当て あてずっぽう 異心 悪い
 心 すこしも 少しでも 人目 人の往来 いで さあ なじかは どうして
 夜半 夜中 愛敬 かわいらしさ 斯う このように 厭ふ きらう もとすゑ
 短歌の上の句と下の句 居る 坐る えせもの ばかもの なべて 一般に・
 普通 すなはち すぐに・そのまま かたゐ 乞食 頼り ついで・手段 恙
 なし 無事だ 手 筆跡 寝 ねること すきもの 風流な人 みながら 全部
 白波 泥棒 心癖 くせ おとにきく うわさの 宿 わが家・家 玉の緒 命
 するし ご利益・ききめ 見様 外見 もろともに いっしょに またのとし あく
 る年 いはむかたなし 格別だ 離る とだえる 憂し つらい 品 身分・人
 がら つとめて 朝早く・その翌朝 翁 老人 かつ 一方では・すぐに つく
 づくとしみじみと しとどに びっしょりと いかさま きっと 玉梓 手紙 さ
 ながら そのまま・残らず かたくななり 頑固で気がきかない・教養がない
 怖づ 恐れる 具す そなわる・連れて行く なりはひ 商売 惑ふ 心が
 乱れる・途方にくれる 麗し きちんとしている うしろめたし 気がかりだ
 えならず 何とも言えないほどすばらしい 遊ばす なさる・詩歌や音楽を
 なさる いぶかし 疑わしい 斯かり このようである よろこび お礼 世
 に 実に・決して…ない なまめかし 優美である 敢へず 堪えきれない
 現人 この世の人・この世 忍ぶ がまんする 詫ぶ 心細く思う うたて
 いやで ときめく 天皇の寵愛を受けて栄える ひたぶるに ひたすら

例の ^{れい}いつものように ^{かな} ころづきなし ^{かな} 気にくわない ^{かな} 叶ふ ^{かな} 思いどおりに
 なる ^{つこ} ころあり ^{まつ} 情趣がわかる ^{まつ} 仕う奉る ^{まつ} お仕えする・…し申し上げる
^{たま} くちさがなし ^{たま} 口が悪い ^{たま} 給ふ ^{たま} お与えになる・下さる・お…になる ^{ぐる} もの狂
^め ほし ^め 気が変になりそうだ ^め 見す ^{いま} 御覧になる ^{いま} 在す ^{いま} いらっしゃる ^{いま} には
^{かこ} ひ ^{がほ} 色美しいこと ^{かこ} らうたし ^{かこ} 可愛い ^{かこ} 託ち顔 ^{かこ} うらめしそうな様子 ^{かこ} あるや
^{たてまつ} うこそはあらめ ^{たてまつ} 何かわけがあるのだろう ^{たてまつ} よしあり ^{たてまつ} 趣がある ^{たてまつ} 奉る ^{たてまつ} 乗り
^{えん} 物にお乗りになる・着物をお召しになる ^{えん} 艶なり ^{えん} 風流である ^{えん} あるじ ^{えん} もて
^{まう} なしをすること ^{まう} 申す ^{まう} 申し上げる・…し申し上げ ^{まう} 侍り ^{まう} お仕えする ^{まう} 晴
^{おほ} るく ^{おほ} はらいのける ^{おほ} 思ゆ ^{おほ} 思い出される・似ている ^{おほ} 御坐す ^{おほ} いらっしゃる
^{おほ} ころゆく ^{おほ} 気分が晴れる ^{おほ} そこはかとなし ^{おほ} これという理由もない ^{おほ} いまい
^は まし ^は 不吉である ^は はしたなし ^は きまりが悪い ^は 果つ ^は 死ぬ ^は はかばかし ^は て
^{まゐ} きばきしている・頼もしい ^{まゐ} 参る ^{まゐ} 召しあがる・なさる ^{まゐ} おとなふ ^{まゐ} 訪問する
^そ なつかし ^{かみ} 親しみがもてる ^そ 其の上 ^{かみ} あのころ ^く 朽つ ^く 腐る ^け 稀有なり ^う め
^{おどろ} ったにない・とんでもない ^{おどろ} 驚く ^{おどろ} はっと気がつく・目を覚ます ^{おどろ} 人遣り ^{おどろ} 他
^{れい} から強制されてすること ^{れい} 例ならず ^{れい} いつもとは違って・病気である ^{れい} 聞こ
^{あらは} ゆ ^{あらは} 申し上げる ^{あらは} 顕なり ^{あらは} まる見えである ^{あらは} ただならず ^{あらは} 普通ではない・すぐ
^{かしこ} れている ^{かしこ} 賢し ^{かしこ} 尊い・もったいない・非常に ^{したた} 認む ^{したた} きちんと整える ^{あらが} 争
^ふ ふ ^ふ あらそう ^ふ つきづきし ^ふ 似つかわしい ^ふ ころやり ^ふ 気晴らし ^ふ あなかま
^{いた} ああやかましい ^{いた} けしうはあらず ^{いた} 悪くなはない ^{いた} 痛し ^{いた} ひどく ^{けい} 啓す ^{けい} 皇
^ふ 后や皇太子や院に申し上げる ^ふ うとし ^ふ 無関心である ^ふ 不便なり ^ふ 都合が
^{めんもく} 悪い ^{めんもく} おもておこし ^{めんもく} 面目をほどこすこと ^{めんもく} かたち ^{めんもく} 顔かたち ^{めんもく} 辛し ^{めんもく} つら
^{なほざり} い ^{なほざり} 等閑なり ^{なほざり} いいかげんだ・ほどほどである ^{なほざり} 侍ふ・候ふ ^{なほざり} お仕えする
^し 知らに ^し 知らないで ^し 匂ふ ^し 美しく照りはえる・つややかで美しい ^し 慣らふ
^た なる ^た 耐ふ ^た 能力がある・すぐれている ^た 怪し ^た 身分が低い・みすぼらし
^い い ^{おこ} 言い遣す ^{おこ} 言ってよこす ^{おこ} 後る ^{おこ} 取り残される・先立たれる ^{おこ} あさまし

あきれるばかりだ・情けない さとゐ 実家に帰っていること さやけし 明
 らかだ・澄んでいる おぼつかなし はっきりわからない・不安だ 聞こゆ
 評判である・理解できる・申し上げる よごころ 色気 ありありて 長い年
 月がたって・あげくのはてに あらまほし そうありたい おのがじし 思い
 思いに 長々し 大人らしい・しっかりしている 障る さしつかえる 忝
 なし ありがたい 気色 様子 給ふ 存ずる・拝見する はかなし 取るに
 足りない いまめかし 現代風である 移ふ 色あせる・花が散る すごし
 気味が悪い・ぞっとするほど素晴らしい 怪し 薄情だ・怪しい 故付く
 由緒ありげだ 仮初なり ほんのちょっと ころぐるし 気の毒だ たまさ
 かなり まれに・万一 いふかひなし つまらない 悪し 悪い 分く 理解
 する 渡す 一面に…する・それぞれ…する 無下に むやみに・まったく
 子の上 年上 悩む 病気になる みそかなり ひそかだ さのみこそは
 そういうものだろう 実に なるほど まうけ 準備・ごちそう たをやかなり
 たわんでいる 奏す 天皇に申し上げる けざやかなり あざやかだ さ
 のみやは そうばかりは…してられまい ころにくし 奥ゆかしい ころ
 もとなし じれたい つらし 薄情だ なでふ どうして・なんという 紛
 ふ 見分けがつかない いはけなし 子供っぽい 案内 よく知っているこ
 と・取り次ぎを頼む いかで どうして・どうにかして 正なし よくない・見
 苦しい・卑怯だ 参る 参上する・さし上げる 拙し へたである・不運であ
 る 侍ふ・候ふ …でございます 眺む 物思いに沈む 数ならず もの
 の数ではない・身分の低い ころら・そこら たくさん 良うせずは 悪くす
 ると 給はる 頂く 謀る 計画する・相談する 篤し 病気が重い 名に
 負ふ 名がついている・有名である 集く 群がる・泣く 逆ふ 反対する
 やむごとなし 格別だ・身分が高い 荒ぶ 気の向くままに…する いふも
 おろかなり 言葉ではいえないほど…だ ねんごろなり 心をこめている